



徳山ロータリークラブ週報

創立 1 9 5 3 年

2006年(平成18年)10月5日 (職業奉仕月間)

唱 歌	君が代 奉仕の理想
ゲ ス ト	(有)もみじや 芳村幹也 氏
ス ピ ー チ	「 おいしいコーヒー 」



撮影者：戸倉茂雄 撮影場所：東京佃島

コメント：日野原重明先生の聖路加国際病院のある明石町岸から、隅田川越しにみた佃のリバーシティー21です。水辺の摩天楼に、つつい、「パッ写」！

* 2006～2007年度国際ロータリー
ウィリアム・ビル・ボイド RI会長のテーマ

LEAD THE WAY ー率先しようー



会長の時間

* 会員 境 琢磨 君は、大和証券(株)久留米支店へご転勤の為、10月4日付けで当クラブを退会されました。今後の境君のご健康とご発展をお祈り致します。

幹事報告

1. 例会変更のお知らせ

クラブ名	日にち		例会場	変更理由
徳 山	10月26日	木	18:30～ 職場例会	於:くだまつ健康パーク
周 南 西	10月3日	火	遠石会館	休会 (定款第5条第1節適用)
山 口 県 央	10月3日	火	ホテルみやけ	職場訪問例会の為
柳 井 西	10月5日	木	柳井グランドホテル	秋の夫人同伴夜間例会の為
光	10月9日	月	ホテル松原屋	休会(祝日の為)
徳 山 セントラル	10月9日	月	ホテルサンルート徳山	休会(祝日の為)
柳 井	10月10日	火	柳井クルーズホテル	職場例会の為 於:中国電力(株)柳井発電所
徳 山 東	10月11日	水	笠戸島ハイツ	家族会の為9日(祝)へ変更
山 口	10月11日	水	ホテルかめ福	職場例会の為 於:中国電力(株)山口支社
柳 井 西	10月12日	木	柳井グランドホテル	職場例会の為 於:大畠製作所
岩 国	10月12日	木	ホテルかんこう	海上自衛隊岩国基地訪問 の為
柳 井	10月17日	火	柳井クルーズホテル	5クラブ合同例会の為19日 (木)へ変更の為
柳 井 西	10月19日	木	柳井グランドホテル	5クラブ合同例会の為
光	10月23日	月	ホテル松原屋	職場例会の為 於:東光保育園

2. 受領物

ライオンズクラブ国際協会	地区広報誌 獅子吼 VOL.2
--------------	-----------------

3. 配布物

- ・ガバナー月信 No.4
- ・ロータリーの友 10月号

4. 地区大会のご案内

10月15日(日)大会2日目

9:00 登録受付開始

9:40 プロローグ

10:00 点鐘

黙祷・来賓紹介・挨拶・祝辞・地区現況報告・各委員会報告・記念事業発表

12:15 昼食・休憩

13:00 記念講演 講師 日野原重明氏(聖路加国際病院理事長・同名誉院長)

14:30 新世代の時間

15:30 表彰・ガバナーエレクト、ノミニー紹介・RI会長代理所感・ガバナー謝辞等

16:50 閉会

17:30 懇親会 開宴

19:00 閉会

※バス・・・防長本社 7:10発、ポプラ徳山駅前店前 7:20発

5. 理事会のご案内

本日例会終了後、例会場にて開催致しますのでご関係の方々はお参集下さい。

委員会報告

《 親 睦 》

・コンペWESTのご案内

とき： 11月11日(土) ところ： 徳山C. C.

※参加希望者は事務局へご連絡下さい。

《 出 席 》

・前回(9/28)未メイクアップ者報告

米野君、堀(信)君、美好君

※出席率100%にご協力をお願いします。(10月11日まで)

《 ローターアクト 》

・例会のご案内

1. 日時： 10月10日(火) 19:00～

2. 場所： 中央地区公民館

3. 内容： 「 司会のスペシャリストになろう! 」

講師の方をお招きして、共通語を学びたいと思います。

※本日出欠表を回覧致しますので、ご記入下さい。

《 ロータリー情報 》

・職業奉仕について①職業奉仕とは

10月は職業奉仕月間です。この際、ロータリー運動の中で不動のバックボーンとなっている職業奉仕について、あらためて考え、心に刻み込んでおきたいと思います。

ロータリークラブの発案・創始者であるポール・ハリスは、自伝「ロータリーへの私の道」の中で、ロータリー会員はその1人ひとりが自分の職業とロータリーの理想を結ぶ環である―と述べています。当初から、その思いの中に職業を重要視する者を中心とする集まり、クラブだ、という強い意識があったのは間違いないと思われます。

ロータリー綱領の中で、奉仕を理念とする団体であると説いているのも、創立時あるいはその後間もなく自然に芽生えた精神を汲んだ表現にほかなりません。また具体的活動に四大奉仕を挙げ、クラブ奉仕がクラブの存在価値の意味が濃いものに対し、次に続く職業を通じた奉仕こそ、広く世の中とつながる環の第1の実践と捉えていいと考えられます。

ロータリーに関する多くの書物が、ロータリーと他のクラブとの違いを職業奉仕を通じて奉仕活動をする独自性を持つとしている点からも、いかに職業に立脚した集まりであり、運動体であるかわかると思います。そしてロータリーはその特性を具現するように、職業分類の原則に基づく会員組織となっています。

ロータリアンと職業は切り離して考えられません。クラブメンバーは自己の属する職業、職種、事業を代表して入会したので、クラブに対しては職業や職種、業種の代表者となり、クラブの外側に向けては、ロータリーの理念、精神を普及する責務を負うというわけです。クラブの内外への2つの責務が職業奉仕のベースとなります。

それでは責務を実践していくための基本となる定義を、世界のロータリアンはどのように求めているのでしょうか。ロータリアン必携からいくつか紹介、ひも解いておきます。職業奉仕とは、「生活の糧を得る方法を生きがいに変えるもの」「職場で、生活の中でロータリアンを生かしていくこと」「働きよい職場をつくり、地域により一層奉仕すること」「専門職務や実業、工業、商業などにおける生活水準を向上させていくこと」「職業に誇りをもち、正直かつ品位のある方法で職業を実践しようとするもの」・・・

さまざまな取り組み方があります。けれども基盤は1つ。ロータリアンは職業を通じて社会に貢献しなければならない、ということでもあります。

【※参考:ロータリアン必携、ロータリークラブ(千趣会)、その他】

担当 : 河野一郎